

# NPO法人SORA お便り

## 2020年 夏号



P1 ししとう

理事長挨拶・事業計画…P2

新型コロナウイルス感染防止対策…P3・4

# 理事長挨拶



NPO法人 SORA  
理事長 利田 等

日頃より、当法人の活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2020年度の当法人社員総会は、新型コロナウイルス感染防止のために、集会を実施せず、社員の方々へ総会資料（2019年度事業実施報告および決算報告・2020年度事業計画案および予算案）を直接送付し、審議してもらう方式を採らせていただきました。そこで、社員全員の承認をいただき、2020年度事業計画および予算が成立しました。よって、御報告いたします。

## SORA 2020年度 事業計画

### 事業計画のねらい

精神障がい者が、住み慣れた地域で心豊かに生活できるように、就労継続支援B型3事業所、指定特定相談事業所が、精神障がい者の生活の質（QOL）の向上・仲間作り・生きがいづくりの支援強化を図っていきたいと思います。

1. 引き続き、相談支援事業所や各関係機関と密な連携を図り、サービス等利用計画・個別支援計画に基づき、それぞれの希望する生活の実現に向け全力で支援するとともに、障がい者が自分で判断し決断できる力を獲得し、自発的な活動ができるよう支援していく。
2. 利用者の満足度調査から、ニーズの把握・課題を抽出し、適切な支援を行う。  
また、施設の特性・方向性・魅力をアピールし多くの方々を利用し、活気のある事業所作りに取り組んでいく。
3. 作業・レクリエーション・スポーツなどを通じて仲間づくりを支援すると共に、通所意欲・作業意欲を高めるための環境整備を図る。
4. 災害時に備え、利用者及び職員の住所等の確認、避難場所、家族との連絡方法等必要な情報の確認を継続する。また、日本各地で起こる震災に学び、実践に役立つ研修等に積極的な参加、情報提供を行い、震災への危機意識を高める。
5. 適切な情報発信が出来るよう、HPの見直し・充実化を図る。お便りの作成、SNSでの発信など様々な媒体を利用し、啓発・広報活動の充実を図る。
6. 感染症対策として、施設内に持ち込まない工夫、持ち込まれた場合に備えて、早期に気づく工夫、困ったときに相談できる体制の整備を行う。
7. 利用者の健康面への関心を高める為にも特定健診制度の周知・受診の声掛けを行うと共に、必要に応じ同行等細やかな支援を行い、利用者の健康作りの増進を行う。

以上、SORA役職員一同、前年度の事業計画において未達の事業の解消に努めながら、活動を続けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染防止対策

緊急事態宣言が解除され、少しずつ以前のような生活が戻ってきてはいますが、依然として不安や緊張感を持って日々の作業に取り組んでいます。

今は第二波、三波に見舞われないように望みつつ、少しでも安心して働ける環境を作るため、利用者・職員の暮らしを守るため、事業所が行っている感染防止の取り組みの一部を紹介したいと思います。

また、自粛期間中に利用者の方々が感じたことや、ポジティブに物事を考えようとする、気持ちの切り替え方がとても印象に残ったのでご紹介したいと思います。

### 手洗い



食品を扱う作業もあるので、手洗いには特に気を付けています。

イラスト付きの手洗いの手順のポスターを参考にして、しっかり手洗いできるようにしています。



### アルコール消毒

一日に最低1回は施設内をアルコール消毒しています。ドアノブや手すり、蛇口など使用する頻度の高いところ、作業で使う道具など消毒する場所は様々です。



### マスクの配布



マスク不足が続き、入手困難な時期が続きました。そこで、週に1回マスクの配布を行い、感染予防に努めています。

### その他の取り組み

- ・ 各種情報提供
- ・ 検温
- ・ 体調確認
- ・ 換気
- ・ 飲食時の距離の確保
- ・ 作業時間短縮
- ・ 来所者の制限、検温
- ・ 各部屋毎の人数制限
- ・ 休憩室の確保
- ・ 利用者さんへの聞き取り
- 等々

## 利用者さんの声

### 気を付けていること

- ・手洗い、うがい部屋の換気をこまめに行い、外出時はマスクの着用を行う。
- ・人ごみの中にあまり出歩かないようにしたり、電車やバスの中では人との距離に気を付けた。
- ・何かあった時は遠慮せずに相談する。
- ・不安が強くなりすぎないようにテレビのニュースを見ないようにした。

### 心配・不安なこと

- ・自分が感染しないかどうか不安です。また自分が人に感染させないかどうか不安です。
- ・いつまでコロナ予防の生活が続くのか、いつになったら以前のように作業できるのか心配です。
- ・これからの季節、マスクをすると暑いので辛い。

### 自粛中にプラスに感じたこと

- ・デイケアやOTが閉まっていたが、作業所は開いていたので行き場あるのは安心できた。
- ・手の込んだ料理を作って、家族に喜ばれた。
- ・マスクや手洗いをよくするようになったので、風邪をひかなくなったのが良かった。
- ・外出自粛で自分の趣味や外食が減り、節約できた。
- ・健康に気を付けて、身体を動かすようにしている。
- ・家族と一緒に過ごせる時間が増え、会話も多くなり嬉しかった。

利用者さんの思いを聞いていく中で、社会情勢が大きく変化しつつも物事をプラスに考える力は、私たち職員も参考になりました。いつまでこの生活が続くのかと不安も大きくなりますが、今後も安全衛生管理に努めていきたいと思えます。そして利用者職員一同、自分自身・家族・大切な人を守る為の行動を行い、お互いに支えあっていく気持ちを持ち続けたいと思えます。

### 表紙紹介



ししとう・トマト・パプリカを育てています。これから収穫できると思うとわくわくします。

明星共同作業所

### 活動予定

イベント・バザー等に関して、コロナウイルスの影響もあり、当面は予定が未定です。

### (就労継続支援B型とは)

病気や障がいを抱えていても、必要な支援を受けながら自分のペースで安心して働ける場所です。就労の機会を通して生産活動の知識や能力の向上が見込まれる人、以前、一般企業で働いていたけど、年齢や体力面の問題で雇用されることが難しい方に、就労の機会や生産活動の機会を提供します。

### (相談支援事業所とは)

障がい者の方にとって、必要なサービスをより安心して利用することができるようにサポートします。訪問又は来所していただき、ご本人の生活に対する希望や悩みを聞きながら、利用計画を作成します。また、障がい福祉サービスが希望通りに提供されているかなど確認し、利用計画の定期的な見直しをします。